

競 技 注 意 事 項

1. 競技規則について

本大会に適用する規則は、2017年度日本陸上競技連盟競技規則および本大会規定である。

2. 招集について

(1) 招集所は、メインスタンド下の雨天走路に設ける。

(2) 手順

① 招集開始時刻に競技者係の点呼を受ける。トラック種目出場者は、招集開始時刻までに自分のレーンナンバーを確認して、腰ナンバーカードを右腰のやや後方につけておくこと。招集時には、ナンバーカード（各自の登録番号）とスパイクピン等の確認を受ける。また、5000m・3000m・5000mWにおいては別ナンバーカードを使用することがある。その際は、招集時に自分のナンバーカードを競技者係に示し、別ナンバーカードを受け取ること。

② 点呼の代理人は認めない。但し、2種目を同時に兼ねて出場する競技者は、第1種目の招集開始時刻までに本人がプログラム巻末、またはアスリートランキング上にある「2種目同時出場届」に必要事項を記入し、メインスタンド下1階北側通路競技者係特設エリア（正面入り口手前左側自動販売機付近）に提出し、併せて、第1種目点呼時に競技者係にその旨を申し出、招集を受けることのできない種目の点呼（ナンバーカード・腰ナンバーカード・スパイクピンなどの検査）を受けておくこと。その場合に限り、招集時刻の点呼に代理人の点呼を認める。また、競技については本人がフィールド審判に申し出て、トラックの方を先に行うこと。

(3) 招集完了時刻に遅れた競技者は出場する意志がないものとみなし処理する。

(4) 招集完了時刻は下記の通りとする。なお、種目別の招集開始時刻・完了時刻は、プログラムの競技日程欄に記入されている。

種目	予選		準決勝		決勝	
	開始時刻	完了時刻	開始時刻	完了時刻	開始時刻	完了時刻
トラック	30 分前	20 分前	25 分前	15 分前	25 分前	15 分前
フィールド	50 分前	40 分前			50 分前	40 分前
棒高跳					90 分前	80 分前

(5) リレー種目

① リレー種目のオーダー用紙は、受付時に手渡しする。リレーメンバー以外から起用する場合は、必要事項を忘れずに記入すること。選手変更の有無にかかわらず第1組の招集完了時刻の2時間半前～1時間前までに、メインスタンド下1階北側通路競技者係特設エリアに提出すること。（指定の時間以外は受け取らない）オーダー用紙の提出がない場合は、欠場したものとして処理する。（準決勝・決勝のオーダー用紙は、競技者係特設エリアで手渡しする。）

② 出場メンバー全員が点呼を受けること。ただし、他種目に出場している場合は、上記(2)の②に準ずる。

(6) やむなく欠場する場合は、招集開始時刻までにプログラム巻末の欠場届に必要事項を記入し、競技者係に提出すること。

(7) 混成競技については、第1日目、第2日目ともに第1種目については招集所で競技者係の点呼を受ける。時刻は上記の表に準ずる。第1日目、第2日目ともに2種目以降については、第2コーナーに設置する混成競技控室（テント）で点呼を受け、係の指示で各競技場所へ移動すること。（混成競技控室での点呼は、完了時刻をトラック 15 分前、フィールド 30 分前とする。）最終種目については招集所で競技者係の点呼を受ける。時刻は上記の表に準ずる。

3. 競技進行について

(1) 番組編成およびラウンドの通過について

① トラック競技のレーン順、およびフィールド競技の試技順は、全てプログラム記載のとおりとする。準決勝以降の組み合わせはすべて番組編成員が行い、記録掲示板と招集場で発表する。

②トラック競技において、次のラウンドへの出場者を決める時、その最下位で同タイム者(1/100 秒)が出た場合は、写真を拡大して精査し優劣の判定をする。レーンに余裕がある場合に限り同タイム (1/1000 秒単位) の選手の進出を認める。レーンに余裕がない場合は本人または代理人による抽選を行う。但し、800mとオープン・レーンを使用する種目は、同タイム (1/1000 秒単位) の競技者は全員次のラウンドに進める。

(2) 競技について

- ①スパイクのピンは11 本以内とし、ピンの長さは9mm 以下で、ピンの直径の先端は少なくとも長さの半分が4mm 四方の定規に適合すること。但し、走高跳・やり投については12mm 以下とする。
- ②ナンバーカードは指定された大きさをユニフォームの胸部と背部につけること。但し、跳躍競技に出場する選手は、胸部または背部だけでよい。
- ③男子 5000m、女子 3000m はグループスタートで行う。
- ④トラック競技の短距離種目では、競技者の安全確保のためフィニッシュ後も自分のレーン（曲走路）を走ること。
- ⑤フィールド競技において、コーチの競技者に対する助言が競技の進行を妨げないようにするため、近接の観客席に「コーチ席」を設けるので、競技者への助言はすべてコーチ席で行うこと。
- ⑥競技区域内（招集所内含む）に携帯電話・スマートフォン・タブレット等の機器を持ち込むことはできない。また、競技区域内で助力を与えたり受けたりしている競技者は、失格の対象となる。なお、フィールド競技に出場している競技者が、それ以前の試技の映像をコーチ席以外の場所で見ると、録画再生機器等をスタンドからの手渡しや吊り下げにより競技区域に持ち込むことは認めない。
- ⑦競技場内での練習は、競技役員の指示に従うこと。
- ⑧招集所からスタート地点、跳躍場、投てき場へ行く場合、競技者係の指示に従うこと。
- ⑨跳躍種目の予選通過標準記録は、下記の通りとする。

	走幅跳	三段跳
男子	6m65cm	13m50cm
女子	5m30cm	

なお、男子三段跳の踏切板は、予選 11m00cm、決勝 13m00cm、女子三段跳の踏切板 10m00cm に設置する。

(3) 走高跳、棒高跳びのバーの上げ方は下記のとおりとする。（ ）内は公式練習の高さである。

男子走高跳	決勝	(165) 170 175 180 185 188 191 (188)	以後3cmずつ上げる	
女子走高跳	決勝	(140) 145 150 155 158 161 164 (155)	以後3cmずつ上げる	
男子棒高跳	決勝	(330) 340 350 360 370 (410)	以後10cmずつ上げる	
女子棒高跳	決勝	(180) 200 220 240 250 260 (250)	以後10cmずつ上げる	
八種競技走高跳		(130) 140 145 150 155 160 163 166 (169) 169 172 175	以後3cmずつ上げる 以後3cmずつ上げる	(2ピット)
七種競技走高跳		(115) 120 125 130 135 140 143 (130) 130 135 140 143 146	以後3cmずつ上げる 以後3cmずつ上げる	(2ピット)

*同記録による1位決定と近畿大会出場権決定のバーの上げ下げは、走高跳2cm、棒高跳5cm とする。

- (4) リレー競技に出場するチームは、上衣は同一ユニフォーム、下衣は同色で参加しなければならない。
- (5) 競技運営上の理由により、以下の種目において下記のタイムを超えて残している場合は、フィニッシュ地点で競技を中止させることもある。男子 5000m 競歩；30 分 00 秒、女子 5000m 競歩；35 分 00 秒

4. 競技用具について

- (1) 棒高跳用ポール・やり以外の競技用具は、競技場備え付けのものを使用する。
- (2) やりは競技場備え付けのものを準備するが、検査を受けて自己のものを使用してもよい。なお、やりの検査は競技開始時刻の90分～60分前までとし、100m スタート側の倉庫前で行う。

5. 抗議について

抗議は日本陸上競技連盟規則により、所定の手続きをとるものとする。

6. 表彰について

各種目 6 位までの選手を表彰する。成績発表後 5 分以内に本部席前に集合すること。必ず競技服装で集合し、出席できない場合は代理人を立てること。また、優勝者の学校は部旗をバックスタンド掲揚柱に持参すること。部旗掲揚時は掲揚柱への敬意・注目指示が出るため、競技を中断する場合がある。

7. その他

- (1) 顧問及び引率責任者(代理)の出席(審判)なき場合は、選手の出場は認めない。なお、競技役員受付を必ず通過すること。
- (2) ウォーミングアップは、補助競技場(サブ・グラウンド)で行うこと。ただし、投てきの練習は、招集完了後、役員の指示により競技場内で行うので補助競技場での投てき練習は一切行わないこと。
- (3) 応援はスタンドで行い、競技場トラック周辺に降りて行わないこと。また、集団での連呼応援は自粛すること。(特にトラック競技のスタート直前は注意すること。)また、円滑な競技会運営のため、コーチ席並びに報道エリアを、観戦や応援のためのスペースよりも優先して設置する。
- (4) 更衣室の使用は更衣のみとし、使用後はすみやかに退室すること。また、一切の私物を置いてはならない。
- (5) 競技中に起こった怪我については、本部の医務室で応急処置のみ行う。
- (6) スタンド等で使用した場所は、各校で責任をもって清掃し、ゴミはすべて持ち帰ること。
- (7) フィニッシュ後のスタート地点への移動等は、必ずスタンド下の通路や競技場の外側を使用すること。通行禁止や使用禁止の表示がある場合は、厳守すること。
- (8) 本部席前は通行を禁止する。許可された者(補助員)以外は通らないこと。また、審判長、総務、アナウンサー前での助言は競技会運営に支障を来すため行わないこと。
- (9) メインスタンドのロイヤルボックス席並びに記者席には立ち入らないこと。
- (10) テントの設置、旗・横断幕の貼り付けは、すべてのスタンド(メイン、バック、サイド)で中段通路より上部とする。
- (11) スタンド等における各校待機場所がトイレ前や通路、階段をふさぐことのないようにすること。
- (12) 商標規制については日本陸上競技連盟規則に準ずる。
- (13) 公園内・サブトラックでは、メディシンボール、チューブ等の使用を禁止する。トラック上に競技場備え付けの用具以外設置してはいけない。
- (14) 盗撮行為等を防止するために、各校に撮影許可証(腕章)が配布されているので関係者の撮影の際には必ず腕章を着けること。また「撮影禁止区域」をスタンドに定めるので、関係者もその場所からの撮影を控えるようにすること。
- (15) 本大会 6 位までの入賞者(混成競技・競歩・女子三段跳・女子棒高跳・女子ハンマー投は 4 位まで)は、全国高等学校陸上競技対校選手権大会近畿地区予選会の出場参加資格を得る。近畿地区予選会出場者の決定については、全国大会出場者決定の申し合わせに準ずる。
- (16) 近畿地区予選会の申し込みに関する一切の書類は、第 3 日目の大会終了後、必要事項を記入して直ちに提出すること。ただし、出場認知書は、平成 29 年 6 月 8 日(木)までに下記へ送付すること。

送付先

〒616-8353 京都市右京区嵯峨大沢柳井出町 5-22 京都府立北嵯峨高等学校内 山瀬 純 先生 宛